

# 「黒部の太陽」福島で44年ぶり劇場公開

トンネル専門工事業の寿建設(福島市、森崎英五朗社長)は、福島市内の劇場で7月末に公開される映画「黒部の太陽」の前売り券の販売を開始した。同社の創業者、森崎氏が映画の舞台である黒部ダム(トンネル工事に従事)の縁がもとで上映する「フォーラム福島」(福島市)に前売り券の販売協力を申し出て、本社で売り出すことになった。上映期間は7月28日～8月10日の2週間。前売り価格は1000円。

## 寿建設が前売り券販売協力 工事に従事した縁で

同社は、映画で取り上げられているダム建設の資材輸送路となる関電(大町)トンネルではなく、大成建設が担当した第5工区の下請企業として工事に参加。100度以上の高熱の岩盤を掘削した放水路左岸(高熱隧道)や、幅23m、長さ184m、高さ33mの巨大なトンネル空間を構築した発電所本体、勾配が34度もあるインクライン(傾斜鉄道)の建設を担当した。

森崎社長は「工区は違うが、福島にも黒部ダム工事に携わった業者がいることを知ってもらいたかった。トンネル工事業者として、我々の仕事がどんなものなのか、この映画を通じて多くの方に見てもらいたい」としている。

日刊建設工業新聞

### 幻の名画「黒部の太陽」

## あすからフォーラムで上映

### ノーカット完全版

## 劇場公開44年ぶり



「黒部の太陽」の一場面

三船敏郎さんと石原裕次郎さんが主演した「黒部の太陽」(昭和四十二年公開)が二十八日から八月十日まで福島市のフォーラム福島で上映される。

映される。ノーカット完全版の劇場上映は公開以来四十四年ぶり。石原さんが「大きなスクリーンで見てほしい」とこだわったことから、テレビ放送やビデオ・DVD化は一切されていない。東日本大震災の被災地復興を支援するため、石原プロモーションと三船プロダクションなどの協力で全国での再公開が実現した。収益は義援金に充てられる。

寿建設が協力写真など展示するフォーラム福島での上映には福島市内の寿建設が特別に協力する。同社の創業者森崎(かなえ)さん(故人)は黒部ダムのトンネル工事に従事し、高熱すいどうや発電所本体の建設に携わった。当時の写真パネルなどを上映会場に展示する予定。

詳しい問い合わせはフォーラム福島 電話024(533)1717。

# 福島・東北

事とされた黒部ダム建設の人間ドラマを迫っている。監督は熊井啓さん。上映時間三時間十五分の超大作で、公開当時七百三十万人を動員するヒット作となった。



## 映画「黒部の太陽」

世紀の難工事といわれた黒部ダム建設の苦闘を重厚な人間ドラマとして描いた超大作映画「黒部の太陽」ノーカット版は28日から、福島市のフォーラム福島で被災地チャリティー上映される。8月10日まで。

「黒部の太陽」は、三船プロと石原プロの共同製作。昭和を代表するスターの石原裕次郎と三船敏郎、そして劇団民藝の宇野重吉が協力して完成した。1968（昭和43）年キネマ旬報ベストテン4位に輝き、観客動員数730万人を記録した。劇場上映は44年ぶり。版

福島であすから

### ノーカット版を上映

寿建設（福島市）がホーム

権を所有する石原プロモーションが、「これだけは映画館の大作の画面と音声で見てほしい」と石原裕次郎の遺志で、ノーカット版はテレビ放映もDVD化もされなかった、まさに幻の名作だ。創業者が黒四ダムの発電所などの建設に携わった



チャリティー上映される映画「黒部の太陽」ノーカット版のワンシーン

ページで映画をPRし、完工記念の記録集や記録映像のDVDなど貴重な資料を貸し出し、上映会場で展示する。県建設業協会も冊子配布を計画するなど、建設業界の関心も高い。

前売りは千円（当日券1200円）。問い合わせはフォーラム福島（024・5333・1515）へ。



# 「黒部の太陽」福島上映に協力

## 寿建設 創業者が隧道工事に従事

関西電力の水力発電 トンネル」の建設過程を  
所・黒部ダム建設に伴っ 描いた映画「黒部の太陽」  
て、大型資材や車両の搬 (三船・石原プロ共同製  
入路となる「関電(大町) 作)が10日まで、福島市の



った建設会社が県内に存  
在する。

トンネル・シールド工

事を得意とする福島市の

寿建設(森崎英五朗社長)

だ。創業者で英五朗社長

の祖父である森崎鼎(か

なえ)氏が、映画の舞台と

なったトンネルではない

が、一連のプロシエクト

のうち第5工区(大成建

設)、放水路左岸(高熱隧

道)建設工事に携わった。

幅23㍎、長さ1884㍎、高

さ33㍎の巨大なトンネル

を造った発電所本体で、

勾配が34度もあるインク

ライン(傾斜鉄道)の建設  
を担当した。1000度以  
上の高熱の岩盤を掘削す  
る切羽の様子は、映画「黒  
部の太陽」でも紹介され  
ている。

し、寿建設のHPを通じ  
前売り券の仲介に一役買  
っている。また、自社で保  
有する建設当時の写真集  
など資料を映画館の待合  
室に展示している。

同社は、この工事で元  
請の大成建設の信頼を得  
て、黒部の高熱隧道完了  
の5年後の昭和38年、大  
成建設とともに栗子トン  
ネル着工に従事する。こ  
れが縁で同社は福島市に  
移転し、社名も森崎工務  
所から現在の寿建設に改  
称した。

同社は、このほど工事  
を請け負って(寿・壁巢建  
設特定JV)着工した国  
道349号線御代田トン  
ネル起工式の席でも森崎  
社長が黒部とのかかわり  
を披露し、出席者に映画  
「黒部の太陽」の前売り券  
をプレゼントした。

そんな縁で、同社は44

年ぶりにノーカット完全

版として劇場公開が決ま

った「黒部の太陽」が県内

で唯一、地元福島市でも

上映されることを知り、

これを応援することに

### 建設業協会も協力

県建設業協会も東日本  
大震災の記雑誌を待合室  
に置いて、来場者の閲覧  
に供したり、映画の前売  
り券をまとめて購入する  
など協力している。

「福島フォ  
ラム」で  
上映されて  
いるが、こ  
の黒部発電  
所の工事に  
直接かかわ  
る

高熱隧道建  
設当時の寿  
建設創業  
者・森崎鼎  
氏(中央)